

主な事業（ は新規事業）	
旧リヴィンの活用推進	3,000万円
広瀬川河畔整備調査	30万円
空き店舗対策事業の充実	4,700万円
TMO支援事業	750万円
中心市街地再生推進事業	600万円
中心商店街協同組合事業支援	1,000万円

旧リヴィンの活用については、中央公民館の移転を中心に、専門学校や商業施設な

中心市街地の再生を

中心市街地の再生や福祉施策の充実などで「元気で楽しい前橋づくり」

第3の柱 主要8分野の具体的な取り組み

どの複合施設として、平成十九年秋のオープンを目指し事業を推進します。

中心商店街空洞化対策では、大型空き店舗活用のための助成事業を創設。また、空き店舗への新規出店者に対する支援を継続します。

このほか、市の組織機構改革によって再編する「にぎわい観光課」を中心に、商店街や商工会議所との連携をますます強めながら、多彩で効果の大きい施策を展開していきます。

少子高齢化対策など充実

児童福祉では、民間保育所の整備に対する支援の継続などを行って、多様な保育サービスを提供。また、勝山小学校区と下川淵小学校区の二カ

主な事業（ は新規事業）	
【児童福祉の充実】	
児童クラブの充実	2億451万円
地域子育て支援センター事業	6,791万円
一時保育促進補助事業	2,900万円
児童手当支給の拡充	19億5,993万円
民間保育所施設整備補助	9,097万円
【高齢者福祉の充実】	
地域密着型サービス運営委員会の設置	91万円
新予防給付の創設	17億9,899万円
地域支援事業の創設	3億7,445万円
地域介護・福祉空間整備等交付金による施設整備の創設	6,000万円
【障害者福祉の充実】	
障害者計画の策定	900万円
【市民の健康の増進】	
がん検診事業の充実	5億1,786万円
自動体外式除細動器(AED)の市有施設への設置	500万円
おなかの赤ちゃんをみんなで守る事業(前橋・高崎連携)	420万円

高年齢者福祉では、介護保険制度改革に伴い、新たに地域

包括支援センターを設置して総合的な介護予防支援事業に



中心市街地ににぎわいを

取り組みます。また、高齢者が住み慣れた家庭や地域で安心して暮らし続けられるように、地域密着型介護サービス拠点の計画的な配置を進めます。

障害者福祉では、障害者自立支援法の施行に対応するため、施策の充実を図っていきます。

また、市民の健康管理では、各種の検診事業の中に前立腺がん検診や胃がん検診に内視鏡(胃カメラ)による検診を新たに加えるなど、内容の充実を図ります。さらに、市有施設に自動体外式除細動器(AED)を配置して、市民の生命を守ります。



東消防署での訓練

また、二十年度を初年度とする第六次前橋市総合計画を策定する中で、「いきいき前橋市民会議」を設置するとともにシンポジウムも開催。広く「市民の皆さんの声」を聞きながら、新生前橋の飛躍に向けて、新たな施策体系の構築に市民の皆さんとともに取り組みます。

水と緑豊かな自然環境、高い農業生産力、充実した医療環境など地域特性を活用したり、新技術・新産業を創出したりすることによって、活力を高める都市づくりを推進。都市とそこに住む人がいきいきと輝く「生命都市いきいき前橋」構想の実現に向けて踏み出します。

その第一歩として、群馬大と県の共同設置による、重粒

また、全国有数の農業産出額を誇る本市の特性を生かすため、米麦や大豆などの地産地消の拡大を推進。安全な農産物の生産と供給を進めるための施策に取り組みます。さらに、市民生活に密着し、安全で安心して暮らせる都市基盤整備を進め、本市の豊かな自然環境を守り、誰もが快適に生活するための住環境整備を進めます。

新生前橋の飛躍に向けて 第1の柱

幹線道路や小中学校の整備や中核市への移行準備を進めます

新市建設計画事業については、教育施設をはじめ、市内幹線道路や消防施設などの整備を計画的に進め、生活基盤の拡充を図ります。

年度の移行を目指した専任組織として、政策部内に中核市推進室を新設。また、保健所を設置するための準備組織として、保健予防課内に保健所準備室を設置するなど、具体的な取り組みを進めていきます。

主な事業（ は新規事業）	
【新市建設計画の計画的な推進】	
主要幹線道路整備(大胡・宮城・粕川地区)	4億6,819万円
宮城支所建設準備事業	2,000万円
斎場整備事業(21年度供用開始予定)	9,195万円
東消防署分署建設事業(19年4月開署予定)	2億3,000万円
小中学校施設整備(大胡小、七中、粕川中など)	20億5,786万円
北部共同調理場移転新築(19年2学期稼働予定)	13億8,750万円
【中核市移行に向けた具体的な取り組み】	
中核市移行準備(専任組織の設置)	120万円
保健所設置準備(")	110万円
【第6次総合計画策定に向けた取り組み】	
「いきいき前橋市民会議」など策定関連経費	1,150万円

地域特性を生かした「生命都市」 第2の柱

市民の健康と食の安全を守りながら住環境の整備も

子線治療施設の整備を支援します。これは二十一年の稼働を目指して建設に着手する、世界最先端のがん治療施設。三九年来にわたり整備を進める予定です。

主な事業（ は新規事業）	
【市民の健康を守る環境づくり】	
重粒子線治療施設整備の支援	2,500万円
【安全な農産物の生産と供給】	
農産物安全安心推進事業	314万円
【快適な住環境整備の促進】	
土地区画整理事業の推進	70億488万円
前橋公園、敷島公園(ばら園)、みやぎ千本桜の森をはじめとした公園整備	16億1,642万円